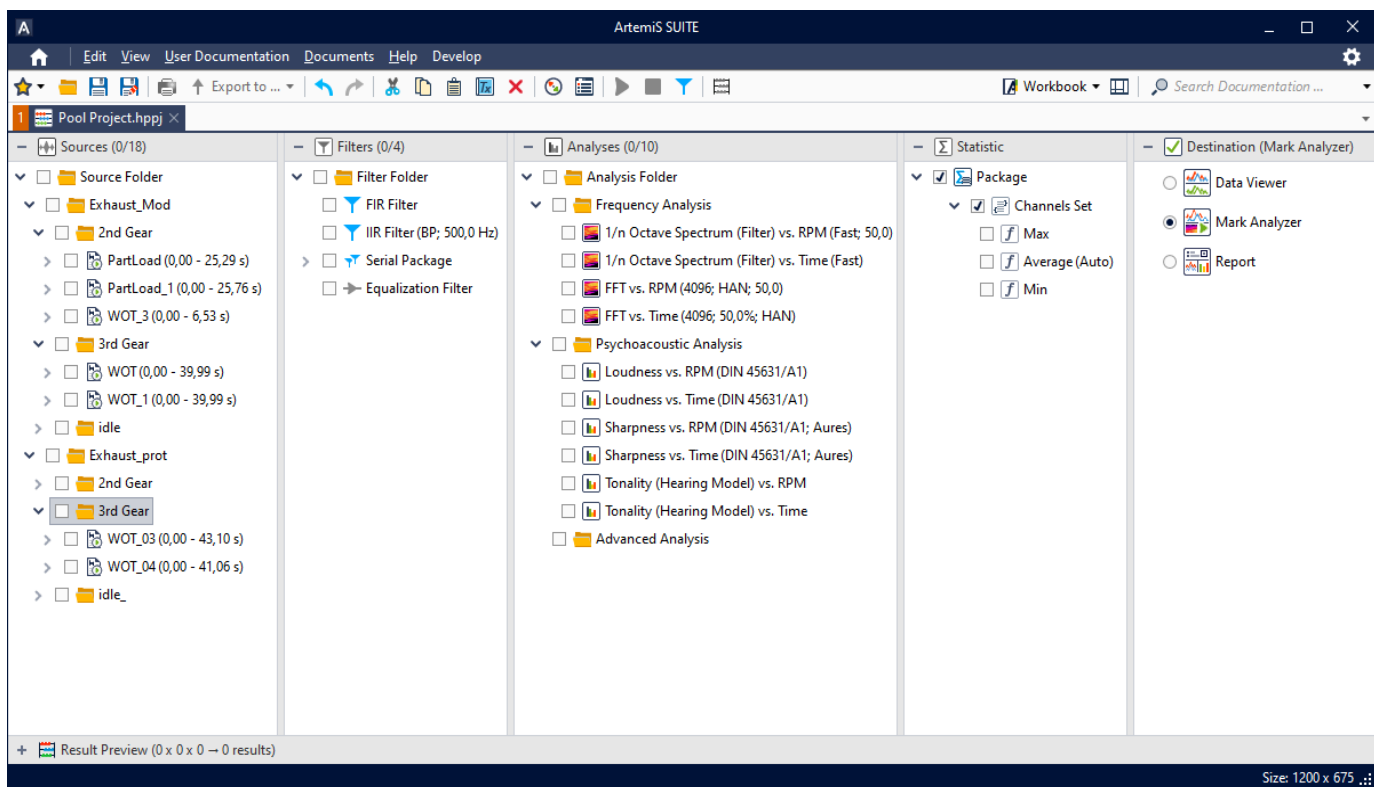




ArtemiS SUITE
Project

Code 50010

APR 010 プールプロジェクト

プールプロジェクトは、プール方式に基づくプロジェクト指向の構成を採用した、ArtemiS SUITEの中核機能です。処理チェーンを構成する各要素が分かりやすく整理して表示されるため、直感的に操作できます。

OVERVIEW

APR 010 プールプロジェクト

Code 50010

プールプロジェクトは、明確に構成された5つのプールで構成されています。すべての時間データと分析ツールはこれらのプールにまとめられています。ユーザーはインタラクティブにプロジェクトを設定し、複雑なタスクでもすべてを管理できます。

計算のために、マークはソースプールで並べ替えおよび有効化できます。必要なフィルタ、分析および処理機能、統計手法はフィルタプール、分析プール、および統計プールで指定されます。結果の表示および出力オプションは出力先プールで設定されます。

さらに、マーク限界の時間または基準物理量に基づく設定のためのマークエディタと、フィルタリングされた入力信号のインタラクティブな分析のためのマークアナライザが含まれています。

特徴

プールプロジェクトは、フィルタ、処理、および分析タスクの簡単でインタラクティブな構成、ならびに統計およびエクスポート操作に使用されます。

プールプロジェクトで使用されるすべての分析（150以上利用可能）、フィルタ、処理機能、統計およびエクスポート機能には、対応するASPライセンスが必要です。

プールプロジェクトは5つのプールに細分化されています：

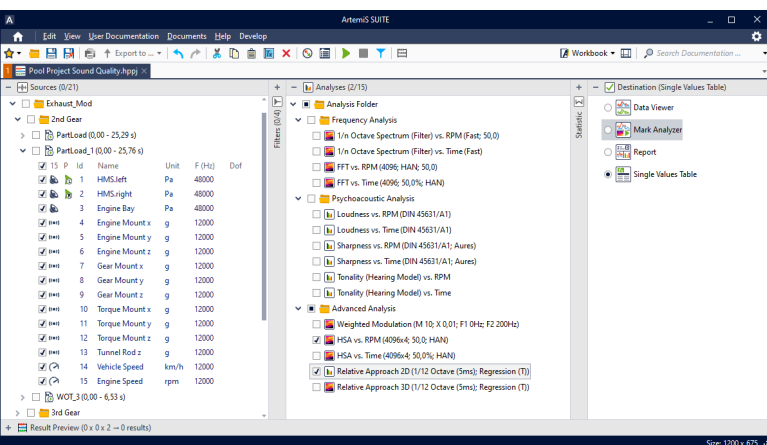
- › ソースプール：時間データ収集と後続処理
- › フィルタプール：入力信号をフィルタリング
- › 分析プール：入力信号の分析および処理
- › 統計プール：入力信号の統計処理のために異なる要素を選択
- › 出力先プール：データの表示またはエクスポートのために、多数の個別に設定可能な要素から一つを選択
- › 結果プレビュー

含まれる機能

- › マークアナライザ
- › マークエディタ

適用例

- › プロジェクト指向の構造により、多様な解析タスクに対応した、柔軟で使いやすい解析・処理ワークフローを自由に構成可能
- › クロスプロダクトロジックの原理に基づくデータ処理



オプション

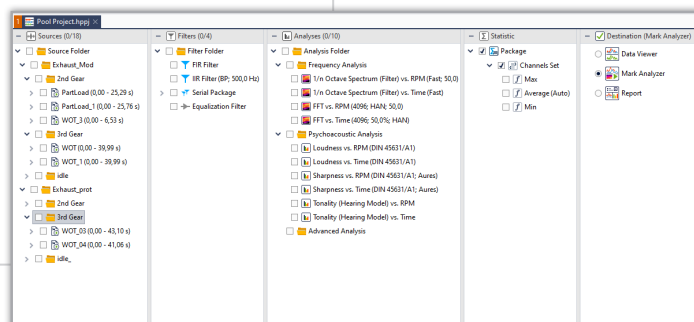
APR 010またはAPR 000に含まれていないすべてのオプションは、別途ライセンスが必要

分析プール

- 基本分析 (ASP 001)
 - FFT vs. 時間、...
 - 1/n オクターブスペクトル (FFT)、...
 - レベル vs. 時間、...
 - パワースペクトル密度、...
 - 単一値: レベル
 - ...
- 基本分析 vs. コントロールCh. (ASP 002)
 - ASP 001 vs. コントロールCh.の分析
- 高度分析 (ASP 003)
 - VFR、...
 - HSA、...
 - ゲートドDFT、...
 - ウェーブレット
 - ...
- 高度分析 vs. コントロールCh. (ASP 004)
 - ASP 003 vs. コントロールCh.の分析
- 変調解析 (ASP 005)
 - 変調分析 vs. 時間、vs. RPM、vs. バンド、...
- 次数比分析 (ASP 006)
 - 次数スペクトル vs. 時間、vs. RPM、...
 - 時間信号 vs. RPM
- オクターブバンド分析 (ASP 007)
 - 1/n オクターブスペクトル (フィルタ) vs. 時間、vs. RPM、...
- 心理音響 - 基本分析 (ASP 101)
 - (スペシフィック) ラウドネス、...
 - (スペシフィック) シャープネス、...
 - トナリティ DIN 45681、...
 - スペシフィック変動強度、...
 - ...
- 心理音響 - 基本分析 vs. コントロールCh. (ASP 102)
 - ASP 001 vs. コントロールCh.の分析
- 心理音響 - 高度分析 (ASP 103)
 - (スペシフィック) ラウドネス (ヒアリングモデル)
 - (スペシフィック) ラフネス (ヒアリングモデル)、...
 - (スペシフィック) トナリティ (ヒアリングモデル)、...
 - (スペシフィック) インパルス性 (ヒアリングモデル)、...
 - スペクトル (ヒアリングモデル)
 - リラティブアプローチ、...
 - ...
- 心理音響 - 高度分析 vs. コントロールCh. (ASP 104)
 - ASP 103 とコントロールCh.の分析
- 会話明瞭度分析 (ASP 106)
 - 会話明瞭度指数 vs. 時間、...
 - ...
- システム解析 (ASP 201)
 - 伝達関数、...
 - インパルス応答、...
 - (多重、部分) コヒーレンス、...
 - (相互、自己) 相関、...
 - 高調波歪み、...
 - ...
- システム分析 vs. コントロールCh. (ASP 202)
 - ASP 201 vs. コントロールCh.の分析
- 音響パワー分析 (ASP 203)
 - 音響パワー vs. 時間、...
 - 音響パワースペクトル vs. 時間、...
 - 音響パワー K1 暗騒音スペクトル
 - 音響パワー K2 環境補正スペクトル
- データ準備 (ASP 302)
 - ドキュメンテーションからの単一値
- フレームワーク (APR 000)
 - 公差確認
- ASX 06 (データ処理アドインAPI)
 - ポスト解析アドイン 2D
 - ポスト解析アドイン 3D

ソースプール

- 後続処理用の時間データ
- HDF
- ATFX
- 適切なATFXデータセットが自動的に作成



出力先プール

- フレームワーク (APR 000)
 - データビューア、計算プロジェクト、単一値テーブル、HDF、HSVX-、HDFX
- APR 010に含まれる機能
 - マークアナライザ
- レポート (APR 020)
 - レポート
- オートメーションプロジェクト (APR 050)
 - オートメーションプロジェクト
- MDF4エクスポート (ASP 703)
 - ASAM 測定データフォーマット
- MTS-RPC変換 (ASP 704)
 - MTS-RPC (RSP)
- UFF変換 (ASP 705)
 - ユニバーサルファイルフォーマット
- フリー (ライセンス不要)
 - ATFX, MP3, WAV, XLSX, ASC

フィルタプール

- 基本分析 (ASP 001)
 - 周波数重みづけ
- オフラインフィルタ (ASP 301)
 - IIRフィルタ、FIRフィルタ
 - 微分、積分、
 - リサンプリング
 - 単位変換
 - ...

統計プール

- 統計 (ASP 303)
 - 最小値、最大値
 - 合計
 - 平均 複素平均
 - 中央値
 - 差分、合計
 - 分位数
 - ...

APR 010に含まれる機能

マークエディタ

マークエディタは、時間または別の基準（アナログまたはデジタルチャンネル）に基づいてマークを切り出すことを可能にします。マークの範囲はマウスで簡単に調整することも、数値で入力することもできます。マークエディタは、目的のRPM値に対応する正しいマーク範囲を自動的に見つけ出し、信号内の異なるRPMランプ間を容易に切り替えることを可能にします。

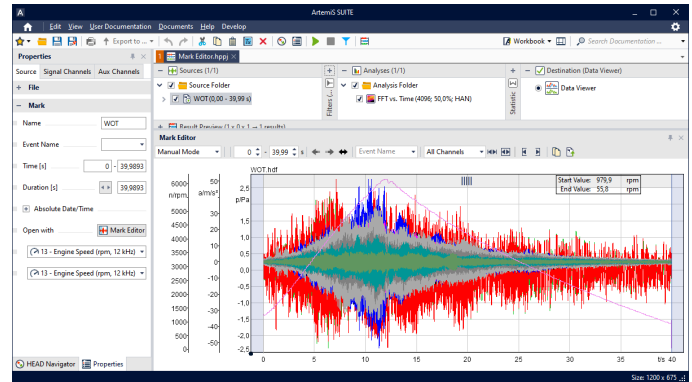
選択したコントロールチャンネルに基づく複数のマークの同時切断のために、テーブルビューにバーグラフ表示でそれぞれの制限が示されます。

空気伝搬信号だけでなく、同等レベルの他の信号も再生可能です。

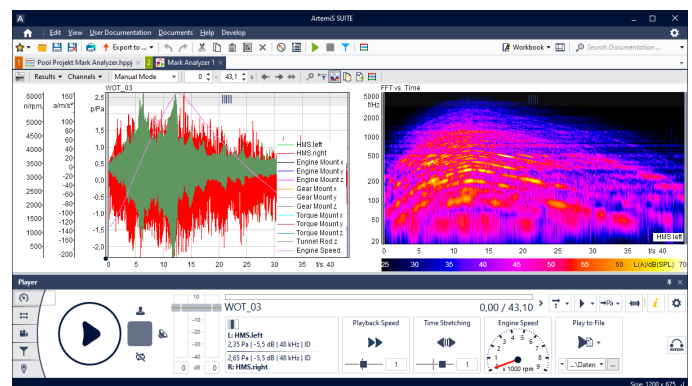
マークアナライザ

マークアナライザは、プールプロジェクト内の時系列データのインタラクティブな分析および再生に使用されます。マークアナライザは、信号を同時に再生および分析することを可能にし、ユーザーの視覚と聴覚を組み合わせた分析を実現します。

プロパティツールウィンドウを使用すると、マークアナライザのすべてのパラメータ、および基盤となる分析結果のすべてのマーク、フィルタ、分析パラメータにアクセスできます。これらは読み取りおよび編集が可能です。



マークエディタ：時間ベースまたは参照ベースでのマーク制限の定義を簡単に行えるツールで、Pool Project内の時間領域信号のコンテキストメニューから起動できます。



マークアナライザは、信号を同時に再生および分析することを可能にし、ユーザーの視覚と聴覚を組み合わせた分析を実現します。

**必要要件：APRフレームワーク（コード50000）
および／または：HEADシステム統合および拡張
（ASX）プログラミングインターフェース**



連絡先

〒240-0005
神奈川県横浜市保土ケ谷区神戸町134
横浜ビジネスパーク ウエストタワー8F
電話番号: +81 45 340-2236
Eメール: headjapan@head-acoustics.com
ウェブサイト: www.head-acoustics.com/jp